

はばたき

厚木市立睦合中学校学校だより
令和元年6月14日発行
NO. 309

仲間を信じる

当日は、全力のパフォーマンスをすることができる。そう確信したのは、ダンスリーダーを決めた中2の10月でした。15人のリーダーが決まり、3つのグループに分かれて、曲のイメージや構成を話し合う会議を何度も重ねました。意見が合わなく涙を流した人。気持ちが伝わらなくて怒り出す人…。でも、みんなの目指すことは一緒でした。「私たちらしい、最高のダンスがしたい。」苦しい日もありましたが、中2の3学期から夢中で練習をしました。ダンスリーダーの頑張りもすごかったですが、それ以上に、みんなは、難しいステップや振りを踊れるようになるまで、弱音を一度も吐かずに、夢中で練習しました。義務教育最後の集大成。保健体育の授業だけではなく、各教科で学んだこと、学校生活、日常生活で学んだことすべてを出し切って欲しいと願いながら、取り組んできました。ダンスというアイテムを使って、得意な人も苦手な人みんながひとつになれたと思います。「全力の姿が、観る人の魂を揺さぶる。一生懸命は、観ている人に感動と勇気を与える。」仲間を信じて、全身で表現してくれたみんなは、私の中のHEROです。3年生。ステキな時間をありがとう。 3年女子ダンス担当 濱地 彩

集団行動を通して

今年の集団行動のテーマは「睦合魂」です。生徒たちは一昨年、昨年と先輩たちの逞しい姿を見てきました。「3年生としての姿を後輩に繋いでいきたい」そんな想いで今年の集団行動の練習はスタートしました。はじめは息が合わずぶつかることもありましたが、みんなで成功させたいという強い想いが日を追うごとに高まってきました。迎えた当日。生徒の中から「令和元年、本気を楽しもうぜ！」そんな声が聞こえました。その言葉を聞いたとき、生徒たちの人としての成長を感じ、とても胸が熱くなりました。この良き伝統を繋いでくれた3年生に感謝するとともに、これからもこの伝統を繋いでいきたいと思います。

3年男子演技種目担当 小菅俊寿

体育大会お疲れさまでした。皆さん、楽しめましたか？僕は多くの人が楽しむことができた体育大会だと思っています。エールリレーでは、盛り上がるだけではなく、団長が面白いことをやったりしていて、とても良いエールリレーだったと思います。後輩たちには、これをさらに良いものにできるよう頑張ってもらいたいなと思いました。また、エールリレーだけではなく他の競技中でも、1番最後の色が競技をしている間には、他の色が応援してくれていました。それを見て、「良い人達だな」と思いました。そして、最後の結果発表。体育委員長の川口さんが「今日楽しかった人ー?!」と聞いた時に、たくさんの方が楽しかったと表現してくれました。そんな睦合が僕は大好きです。黄色組解散式では、皆が僕を胴上げしてくれて嬉しかったです。僕を支えてくれた黄色組、共に戦った他の色、サポートしてくれた先生方、見守ってくれた保護者の皆さま、ありがとうございました。 黄色組団長 工藤春樹

今回、やる気満々で応援に臨みましたが、賞が取れず、団長としては、ちょっと悔いが残るところもありました。でも、そんな自分に協力して、応援を上げてくれたクラスのみならず赤組の1年生には、本当に感謝の思いでいっぱいです。自分についてきてくれてありがとう。2年生がいない中、初めての体育大会で頑張った1年生には、心からの「ありがとう」を伝えたいです。赤組全員が声を出して応援をしたときは、熱い思いで胸がいっぱいでした。最高の思い出となりました。全体では勝てなかったけれど、1年も3年も学年種目で1位をとれたのは、赤組の誇りです。みんなかっこよくて、すごかったと思います。後輩のみんなは、ぜひこの一日を良い思い出にして、来年はさらなる飛躍してほしいです。ありがとうございました。 赤組団長 畑山莉菜

僕は初めてこのようなみんなを引っ張る立場になったので、何からやればいいのか分からなかったし、みんながついてくれるのか不安でしたが、緑組は最初から思い切り声を出してくれる人がいたので、最初は小さな声だった人も練習をしていくうちに、みんなで盛り上がってくれて本当に頼もしかったです。当日は、すべての競技において、1、2、3年の緑組全体が一つになって応援に取り組むことができたのが心に残っています。結果として総合優勝は取れませんでした、「応援賞」が取れたことが本当に良かったです。みんなが必死に応援してくれたこと、全力で楽しむことができました。僕は緑組の応援が大好きだし、最高の体育大会だったと思います。学級旗を描いてくれた仲間、応援グッズを作ってくれた仲間、応援を考えてくれた仲間、クラスの仲間に支えられ、1、2年生に支えられ、緑組の先生たちに見守られ、団長を務めることができました。緑組のみなさん、団長についてきてくれて本当にありがとうございました。 緑組団長 石塚武蔵

今年の体育大会のスローガンは、「Burning our hearts～未来につなげ5色の魂～」でした。みなさんは、このスローガンのように、心を燃やすことができましたか？きっと、多くの人が全力を尽くし、心の中には大切な思い出が残っているのではないのでしょうか？それは、体育大会当日まで一生懸命練習してきたからこそ得られたものだと思います。例えば、声がかれるまでした応援や、何回も跳んだ大縄、バトンパスを工夫したオールスターリレー、短い時間で繰り返し練習した縦割り種目など、本気で練習した時間こそが、みなさんの力になっていると思います。優勝や準優勝といった、目に見えるものも大切かもしれませんが、ぜひ、目に見えないかけがえのない思い出を大切にしてください。それを心の糧に、より有意義な学校生活を送っていきましょう。 青組団長 大島輝陽

無事、最後の体育大会を終えることができ、ホッとしています。このような形で体育大会を終えられたのもピンク組の仲間、それを支えてくれた先生たちのおかげだと思います。また、一緒になってこの体育大会を盛り上げてくれた睦合中のみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。僕はこの体育大会がはじまる前、なんの目標もなく毎日の生活を送っていました。しかし、この体育大会で団長になり、「みんなで取り組むことの大切さ」や「本気で取り組むことの楽しさ」、「日頃の生活から意識を変えること」などを学ぶことができました。このような経験をこれからの生活に活かすことが大切だと思います。体育大会が終わって1ヶ月、日常の生活に戻った今、この経験を活かすときだと思います。体育大会で全力になって取り組んだ気持ちを忘れずに、これからの生活を送っていきましょう。 ピンク組団長 二宮海澄

